

## 理論政策更新研修の実施に当たってのお願い

標記研修会にご参加いただき、ありがとうございます。みなさまのご協力の下、感染症対策を行います。まずは以下に該当する方のご参加をお断りします。

- ・ 非接触型体温計で体温確認を行い 37.5 度以上の方や風邪の症状等の不調のある方
- ・ 新型コロナウイルス感染症で陽性とされた方
- ・ 同陽性者と濃厚接触のある方
- ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域への渡航並びに当該在住との濃厚接触のある方

具体的な対策は以下のとおりです。

### (1) 入場時の非接触体温計による計測

- ・ 体温が 37.5 度を超える方のご参加はご遠慮いただきます。

### (2) 受付でのアクリルボードの設置

- ・ 飛沫感染対策として距離の確保が難しい受付机に設置します。

### (3) 接触感染対策

- ・ コロナ下以前の会場の面積を倍増して対応します。
- ・ 受付ならびに入口の数カ所に高濃度アルコールによる手指消毒ボトルを設置します。
- ・ グループ討論では可能な限り間隔を空けて 4 人程度の少人数で行うとともに議論の時間を極力短くします。
- ・ ウェットティッシュを用意しますので、ご参加のみなさまにそれぞれ自分が使用する机や椅子などを拭いていただきます。会場で使用するマイクについても主催者が清拭を行います。

### (4) 飛沫感染対策

- ・ 感染対策に効果がないとされるポリウレタン等のマスクを避けて不織布のマスクをつけてご参加ください。
  - ・ マスクは鼻が隠れるよう、また顔との隙間をなくすよう装着してください。
- 万一、お忘れの方などのために予備の不織布マスクを準備しています。

### (5) 空気感染対策

- ・ デルタ株の主要因は空気感染とされるので換気をもっとも重要です。換気の指標として CO2 センサーによる計測を講師前 2 メートル程度の場所でモニタリングします。
- 一定の値 (700ppm 程度) を越えないよう換気を行いますのでご協力、ご理解をお願いいたします。
- ※ ビル管理法では 1000ppm が換気の基準とされますが、デルタ株の強力な感染力を考慮して 7 割程度の二酸化炭素濃度 (=換気率の向上) での運用とします。

### (6) 講師の方も不織布マスクの着用

- ・ 息苦しい場面もあろうかと存じますが、マイクを使って小声で音声が行き渡るようにいたします。

リモートの開催が現実的でないなかで、ご参加の方の安全を最優先するための措置ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。

一般社団法人徳島県中小企業診断士会 会長 平井 吉信